

「経済特区開発提案」(神戸編)に向けた構造検討

[上海・長江経済圏との経済圏共有を国内の地域復興に活かすことの戦略計画]

社会資本研究会 事務局
編集プロデュース 株式会社 スーパースタジオ

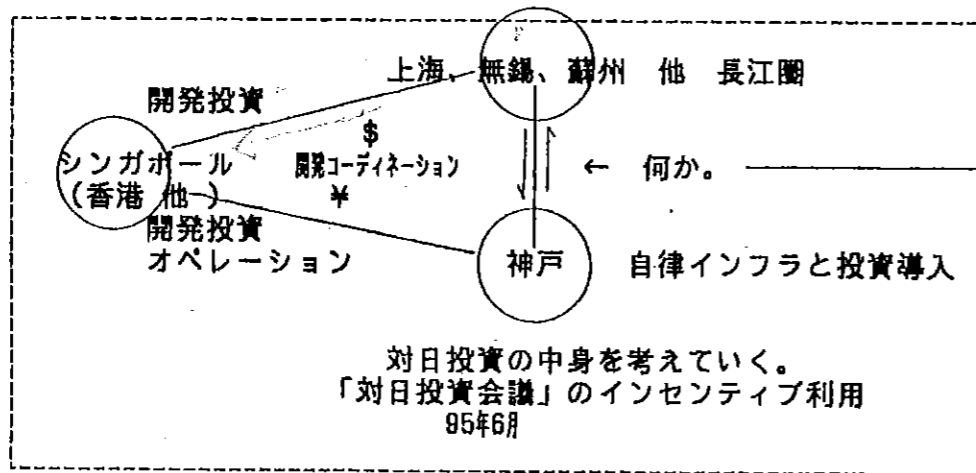
95.6.20

神戸との経済共有圏の獲得のために

海外コンソーシアムからの提案
-シンガポール・上海における
4回のF/Sより(当事務局)
1994年11月~

上海・長江エリアに集中する巨大開発投資と、その投資を行なっている
投資国(外貨も含む)からの総合的ビジネスを神戸へ向かわせる。
どのよう?
神戸と結ぶことにより、上海・長江エリアへの投資国(シンガポール)の
「開発投資の早期回収と投資の軽減化」を図らせることのできる構造を組み立てる。

『“ASIA PACIFIC SECURITY AREA”』 日本→アジア・パシフィックへ
(APEC SOM 利用)



■セキュリティ・インセンティブを切り口とするゾーニング開発
→ 経済圏共有の街開発

1. 通貨
2. 就業、居住
3. 企業活動への特惠条件/経済上の貿易
4. 防災/セキュリティ/福祉
5. 治安
6. 技術補償 基準/著作権
7. 多国間・多人種間の情報・ライフサービス補償
8. 交通・情報インフラ
9. 教育・人材育成
10. 自治補償
11. 生活・自治権・市民権
12. 都市開発/エネルギー
13. 文化交流促進

■上海・無錫・蘇州等の総投資回転の高稼働と安定を図るための
通貨・技術補償・日本企業資本の投入による“セキュリティ・エリア”の開発

シンガポールの経済特区開発ノウハウと同国の上海・長江経済圏への大規模な開発投資を生かす。

<p>シンガポール政府・ 政府系企業</p>	<p>→ 上海・無錫・蘇州 経済特区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長江川を使ったビジネス ・ビジネスMDの軽量化 ・KOREAとの競合/釜山 ・日本の港湾へのビジネス拠点化に よって開発投資を軽減 	<p>(なぜ投資をするのか。) これらの地域の特区政策にこれからの マーケット移行を読んでいるから。</p> <p>(ならばこれらのエリアへの投資を回収する方法とは。) ・当エリアにおける通貨の安定補償と高度生産技術の確保 ・当エリア開発の優秀な人材・労働力の他地域への斡旋 ・ビジネスターゲットの拡大と生産MDの高付加価値化 ・開発投資回収の安定化——円を使う(円高利用) ・港からと空からとのビジネスチャンネルを分ける</p>
----------------------------	--	---

※ シンガポールが無錫・蘇州で何をビジネス対象としているか。再開発/インフラそのもの? あるいは貿易ビジネスか。

開発対象 (無錫) タウンセンター開発 → ディベロッパー・ビジネス
と
工業団地開発 → コーディネーション・ビジネス
(10-15 100ha, 1000ha)